

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第4部門第1区分  
 【発行日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【公開番号】特開2004-92069(P2004-92069A)  
 【公開日】平成16年3月25日(2004.3.25)  
 【年通号数】公開・登録公報2004-012  
 【出願番号】特願2002-251776(P2002-251776)  
 【国際特許分類第7版】

E 0 3 C 1/044

F 1 6 K 11/22

【F I】

E 0 3 C 1/044

F 1 6 K 11/22 B

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月9日(2005.3.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

給水管と給湯管とから供給される水と湯を適温の混合水にする温度調整弁と、その温度調整弁に連動した温度調整弁操作手段と、この温度調整弁によって適温になった混合水を供給する吐水口とを備えた湯水混合水栓において、開閉弁操作手段の押圧操作により開閉する開閉弁と、前記吐水口からの吐水流量を調整する流量調整手段とを、前記温度調整弁と吐水口との間に設けたことを特徴とする湯水混合水栓。

【請求項2】

前記流量調整手段を着脱可能に設けたことを特徴とする請求項1に記載の湯水混合水栓

【請求項3】

前記湯水混合水栓には、吐水口としてカランとシャワーノズルへ連通されたシャワーホースがそれぞれ接続されており、かつ、カランとシャワーノズルとの吐水・止水を行うために前記開閉弁をそれぞれ配置してなることを特徴とする請求項1に記載の湯水混合水栓

【請求項4】

前記流量調整手段は、前記開閉弁に連通する通水路にそれぞれ配置してなることを特徴とする請求項1に記載の湯水混合水栓。

【請求項5】

給水管と給湯管とから供給される水と湯を適温の混合水にする温度調整弁と、その温度調整弁に連動した温度調整弁操作手段と、この温度調整弁によって適温になった混合水を供給する吐水口とを備えた湯水混合水栓において、開閉弁操作手段の押圧操作により開閉する開閉弁を、前記温度調整弁と吐水口との間に設けると共に、温度調整弁の上流側または下流側に吐水圧力減圧手段または吐水流量定流量化手段を配置したことを特徴とする湯水混合水栓。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決すべく、本発明の請求項1では、給水管と給湯管とから供給される水と湯を適温の混合水にする温度調整弁と、その温度調整弁に連動した温度調整弁操作手段と、この温度調整弁によって適温になった混合水を供給する吐水口とを備えた湯水混合水栓において、開閉弁操作手段の押圧操作により開閉する開閉弁と、前記吐水口からの吐水流量を調整する流量調整手段とを、前記温度調整弁と吐水口との間に設けたことを特徴とする湯水混合水栓とした。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明の請求項2では、前記流量調整手段を着脱可能に設けたことを特徴とする請求項1に記載の湯水混合水栓とした。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明の請求項3では、前記湯水混合水栓には、吐水口としてカランとシャワーノズルへ連通されたシャワーホースがそれぞれ接続されており、かつ、カランとシャワーノズルとの吐水・止水を行うために前記開閉弁をそれぞれ配置してなることを特徴とする請求項1に記載の湯水混合水栓とした。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本発明の請求項4では、前記開閉弁に連通する通水路にそれぞれ配置してなることを特徴とする請求項1に記載の湯水混合水栓とした。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

本発明の請求項5では、給水管と給湯管とから供給される水と湯を適温の混合水にする温度調整弁と、その温度調整弁に連動した温度調整弁操作手段と、この温度調整弁によって適温になった混合水を供給する吐水口とを備えた湯水混合水栓において、開閉弁操作手段の押圧操作により開閉する開閉弁を、前記温度調整弁と吐水口との間に設けると共に、温度調整弁の上流側または下流側に吐水圧力減圧手段または吐水流量定流量化手段を配置したことを特徴とする湯水混合水栓とした。